



# 静岡市環境大学 2020



## 環境を愛し、守っていききたいと思うあなたに！

静岡を代表する4人の環境のスペシャリストが、「シズオカ版・学びカリキュラム」を監修。

よりよい環境を将来の世代へ「ツナグ」ため、たくさんのヒントを得て、踏み出してみませんか。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



南アルプス・駿河湾・気候変動・エネルギー・自然再生・生物多様性・マイクロプラスチック・・・  
循環型社会形成・フードマイレージ・ごみ減量・食品ロス・環境教育・ESD・STEM・・・

## カリキュラムアドバイザー



東海大学海洋学部教授 秋山 信彦  
静岡大学大学院教育学領域教授 熊野 善介  
静岡県環境資源協会専務理事 平井 一之  
環境カウンセラー 瀬本 豊久



「静岡市環境大学」は、市民講座の名称であり、学校教育法で定める「大学」ではありません。  
人材の養成を目指す「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の専門課程の一つです。

# 静岡市環境大学 とは？

環境問題を様々な視点から捉え、**自らが行動するための知識や実践的な技能を学ぶ連続講座**です。



講義を聴くだけでなく、観察・実験に参加し、チーム力を高めるグループ演習を行います。

東海大学プロデュースの「深海魚ミズウオの解剖」など、「**シズオカ色**」を取り入れたほか、

国連の持続可能な開発目標である「**SDGs**」の推進につながるカリキュラムを提供します。

## 打ち解け合う「ナカマ」

「アイスブレイク」を通じて  
初対面の緊張感もどこかへ  
いっちゃった。



## 修了生の活動紹介



ま・あ・る「マグロからエコを学ぼう」

修了生が小学生に環境講座を行いました

誰もが気軽に  
学び合える  
「環境大学」

大学レベルの  
学びの機会が  
得られる  
「環境大学」

異分野で  
活躍する人材  
と交流できる  
「環境大学」

多様な価値観  
を共有できる  
「環境大学」

## 修了生 VOICE

令和元年度修了／

9期生 **伊藤 高義**さん



私は「大人が笑顔になれば、子どもの笑顔につながる」をコンセプトにアフロを被りながら清水駅、三保松原周辺をウォーキングゴミ拾いする「チームつながり」という活動を10年前から行っていますが、世界文化遺産富士山の構成資産の一つである三保松原では多くのペットボトルなどのゴミが落ちています。

環境大学を受講したことで、このゴミなどが「海洋プラスチックごみ」となり、海や魚などの環境に悪影響を及ぼすことに視点が向くようになりました。子ども達に伝える知識が増えて、本当に学んでよかったです。これからもこの学びを活かしながら二代、三代先の子もまた地元が誇れる場所であるために、私たち大人が楽しみながら環境問題などに向き合っていきたいと思います。

## 仲間の「ツナガリ」 市民活動支援サイト ここからネット

市民活動団体を探したり、市民団体が主催するイベント・まちづくり活動を探したりすることができます。  
環境活動のきっかけが得られるかも!?



## 修了生 VOICE

令和元年度修了／

9期生 **小川 温**さん



私は、環境問題の何が問題なのか、環境問題を解決するために私自身が出来ることは何だろうか、という事を学びたいと考え環境大学への入学を希望しました。

環境大学の魅力は充実したカリキュラムの中で様々な視点から環境についての学習ができることと、様々な方との出会いがあることです。環境について知識を付けたい方、環境に関わるお仕事や活動、学習をされている方に環境大学への入学をお勧め致します。

# カリキュラム (14日間)

【講師の都合等により日程・内容等を変更することがあります。 ※会場は特に記載のない場合、「しずもーる沼上」です。】

★ 受講生には、カリキュラムのうち、8割以上の講座を受講していただきます。

## ① 6月27日(土) 11:00~12:00 ●入学式・オリエンテーション／演習・ワーク

### アイスブレイク 静岡市役所 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家が実践している自然体験活動の指導者養成講座の技法を取り入れながら、指導者としての基礎知識を学びます。

## ② 7月4日(土) 9:15~12:15 ●講義

**環境保全の法制度** 常葉大学社会環境学部 准教授 小杉山 晃一  
生物多様性の保全を核として、環境保全を目的に制定された国際条約・国内法を概観します。



### 環境問題の現状と循環型社会形成に関する法体系

(一社)静岡県環境資源協会 専務理事 平井 一之

環境問題の現状と課題を解説します。併せて、循環型社会形成について、法体系を分野別に学びます。特に、廃棄物対策と循環型社会の構築を市民の立場で考えるポイントを中心に、個別リサイクル法を例に紹介します。

## ③ 7月18日(土) 9:15~15:30 ●講義・ワーク

### 静岡市の環境行政・静岡市の廃棄物行政

静岡市役所 環境創造課・ごみ減量推進課



### 食品ロス削減でつくる持続可能な社会

東京家政学院大学現代生活学部 教授 上村 協子

食料自給率37%の日本で、年間643万トンのまだ食べられる食品が廃棄されている現状をどうしたら変えられるのか。食品ロス削減推進法の施行を契機に、一人ひとりが自分事として考え、エシカルなコミュニケーションで消費者と事業者と自治体が連携して、日本各地で動き出した活動を紹介します。

### グローバルゼーションのもとでの環境教育/ESD

東京都市大学環境学部 教授 佐藤 真久

本講演では、これからの時代を見据えて求められる環境教育/ESDについて歴史的背景に基づくものである。とりわけ環境教育の歴史的進展、SDGsの社会背景、世界観、特徴を踏まえつつESDの国際的議論の中で指摘されている事項について考察を深めます。



## ④ 8月1日(土) 9:15~12:00 ●講義

### 最近の気候変動と物質循環・海洋生態系の相互リンク

静岡大学創造科学技術大学院 特任教授 鈴木 款

最近の気候変動・異常気象は大気だけでなく海洋が大きな影響を与えている。何が起きているのか、それに二酸化炭素等の炭素・窒素循環はどのような影響を与えているのか。この物質循環と環境の変化にバクテリアや微細藻類の動態はどのように関係しているか。複雑な環境システムを理解する道を探ります。



### 海洋プラスチック汚染の状況とリスク

早稲田大学人間科学学術院 教授 山田 和芳

海洋プラスチック汚染は、世界的な喫緊の課題となっています。海洋プラスチック汚染の現状や健康リスク、世界でおこなわれている様々な取組を紹介します。



## ⑤ 8月22日(土) 10:00~12:00 ●体験

### ふじのくに地球環境史ミュージアムを見学しよう！

ミュージアムサポーター

「百年後の静岡が豊かであるために」

ミュージアムは、日本の縮図と言えるふじのくに・静岡県の多様な自然を読み解くことで、人が自然と共生する未来のあり方を提案します。当日は、企画展や常設展に加え、収蔵室等のバックヤードを含んだガイドツアーを実施する予定です。

※入館料は受講生の実費負担となります。



## ⑥ 8月29日(土) 10:45~15:30 ●講義・演習・ワーク

### 食品ロスの国内事情と海外の取り組み

愛知工業大学 経営学部 教授 小林 富雄

日本でも注目されるドギーバッグやフードバンクについて国内の現状と海外の先進的な取り組みを紹介します。



### 環境学習リーダー基礎知識～心得・企画・仲間づくり～

(一社)会議ファシリテーター普及協会 副代表理事 小野寺 郷子

環境学習は学んだことを実践し、広めていくことでこそ価値があります。講師の専門「ファシリテーション」を活用した環境学習リーダーの基礎知識を実践形式の講義で学びます。

## ⑦ 9月12日(土) 13:00~15:00 ●演習・ワーク

### 買い物から環境を考える～フードマイレージ買い物ゲーム～

(公財)公害地域再生センター／あおぞら財団 研究員 栗本 知子

「フードマイレージ」とは、食べ物の生産地から消費される食卓までの輸送に要した「距離×重さ」を表したものです。フードマイレージが増えると、輸送エネルギー消費が多くなって、大気汚染や地球温暖化を引き起こす原因になります。ゲームを通して、食と交通と環境が、日々の買い物とつながっていることを学びましょう。



## ⑧ 10月3日(土) 9:15~12:00 ●講義



### 南アルプスの成り立ちと自然環境 静岡大学 客員教授 増澤 武弘

南アルプスの地形、地質、動植物等を概観したのち、南アルプスの魅力を紹介します。さらに南アルプスの自然に対して、市民ができる保全策を考えます。

### 地域の自然環境を再生する—生物多様性と地域の環境—

常葉大学 名誉教授 山田 辰美

静岡市は自然環境が豊かなことが自慢ですが、開発や温暖化等によって荒廃したり、失われつつある自然や生き物、景観等があります。身近な地域を見つめ直し、取り戻したり保全したりする可能性について考えてみましょう。生物や環境の保護や復元のために必要な知識や技術について、分かりやすく紹介します。



## ⑨ 10月17日(土) 9:15~12:15 ●見学/講義 ※西ヶ谷清掃工場

### ごみ処理ガイドツアー（清掃工場見学）

静岡市役所 廃棄物処理課

### 廃棄物とリサイクル 環境カウンセラー事業者部門 瀬本 豊久

容器リサイクル法による容器包装プラスチック廃棄物のリサイクルの実態について考えます。



⑩ 11月7日(土) 9:15~12:00 ● 講義

SDGsの実践～生ごみと放置竹林の問題に取り組む～

(一財)静岡市環境公社 環境啓発顧問/沼上資源循環学習プラザ 重岡 廣男

食品ロスにつながる「生ごみ」と、住環境に拡大する「放置竹林」の背景にある環境問題を解説し、両問題を解決する手法を学びます。



環境保全と人口増加のジレンマを克服し  
持続可能性社会を実現するためのバイオミメティクス

浜松医科大学 名誉教授 針山 孝彦

人間が生きることはエネルギーが不可欠であり、そのため環境破壊をしないといけない。たとえば、人口増加に対して生産性を上げなければならず、食料生産のために必要な農業が環境を破壊してしまう。これらを解決するために今我々が学ばなければならないことを、バイオミメティクスの視点から掘り下げてみたい。



⑪ 11月14日(土) 9:15~15:00 ● 講義/実習・ワーク ※東海大学海洋科学博物館

静岡市の河川環境—川の環境と生物多様性—

東海大学海洋学部 教授 秋山 信彦

河川は源流から海に到達するまで、蛇行しながら流れている。そのために様々な環境が作られ、それぞれの場所に適応した生物が生活している。そのために生物多様性が維持されている。本講義ではそれらの関係について説明する。



深海魚ミズウオから学ぶ海洋環境の問題

東海大学海洋学部博物館業務課 課長補佐 伊藤 芳英

世界唯一、駿河湾を有する静岡ならではの環境教育プログラムを実施します。扱う教材は、「深海魚ミズウオ」で、回収不能といわれる海ごみに着目した「海洋のごみ問題」について解説します。

⑫ 12月5日(土) 9:15~12:00 ● 講義・演習・ワーク

STEM教育改革と環境教育の理論と実践 (前編・後編)

(前編) 静岡大学大学院教育学領域 教授 熊野 善介 (写真) / (後編) 准教授 郡司 賀透

(前編) Society5.0に応える環境教育の在り方について、議論を展開しながら、新しい環境教育のあり方を抽出しながら、実はSDGsが求めるものとSTEM教育改革が求める内容の類似性を明らかにしながら、静岡市という文脈でどのようなアクションが可能かデザインします。

(後編) 環境教育におけるポストモデルとして、STEM (ステム: 科学、技術、工学及び数学) 教育が注目され始めている中、静岡市におけるSTEM教育の実践例を踏まえながら、環境教育において留意すべき点を学びます。



⑬ 1月9日(土) 9:15~11:00 ● オリエンテーション/卒業発表リハーサル

静岡市環境学習指導員の活動について

(特非) 静岡県環境カウンセラー協会 理事 守屋 司子

静岡市環境学習指導員派遣事業についての説明と、今後の活動の参考になるように指導員の活動状況を事例をもとに詳しく紹介します。

卒業発表リハーサル

⑭ 2月6日(土) 9:15~12:00 ● 卒業式/卒業発表

2020年7月~12月 環境活動・イベントに参加しよう (2回以上)





